

194名の新生と共に

岩日タイムズ

発行者
岩瀬日本大学
高等学校
新聞部
染野真輝
渡邊貴之
伊藤咲羽

新しい春を迎えて 新生はばたく



右期待に膨らませた 新生とその保護者

四月七日に、本校に一九四名の新生が入学しました。当日は桜が満開の晴天で入学式にふさわしい一日でした。少し緊張気味な表情でして校舎へと入っていく新生達。彼らは心の中で「新しい学校でどう過ごしたらよいのか」「クラスメイトの生徒と仲良くできるのか」と、それぞれこれらのことについて考えていたことでしょう。

入学式の会場となっている体育館の中では、初めての場所に緊張している生徒もいれば、初めて会う子とも仲良くしようと話している光景も見られました。

多くの人が集まる所なので生徒や保護者は、マスクを着用して風邪などの感染予防を積極的に心がけていました。

新生達には、本校で夢に向かっていろんな人と協力し合い、多くのことを学んでほしいと願っています。

平成二十六年度 クラブ紹介



右バスケ部は 個性的な呼びかけ で新生を勧誘！

四月十一日の一時間目に、二、三年生が所属している二〇以上の部活動と愛好会が新生に各自で紹介しました。クラブの皆さんは、緊張した面持ちで自分たちの出番を待っていました。ただじっと座っている生徒もいれば

出番が来るギリギリまで紙を見つめ練習をしている生徒もいました。サッカー部は、ステージ上でボールを蹴るパフォーマンスをしていました。軽音愛好会は、ギターやドラムを使って音楽で楽しませ、最後には、チャリデーイング愛好会が活気のあるダンスを披露してくれました。

新生は最初のうちは部活と勉強の両立が大変ですが岩日のより良い発展に、何より自分自身のために積極的に入部してもらいたいです。

編集後記

今回のクラブ紹介では、各クラブの部員たちが新生達を様々な方法で呼びかけていました。各クラブの紹介が個性的で、つい引き込まれてしまいました。また、新生達も笑っていたと思います。来年のクラブ紹介にも期待したいです。(渡邊)
